

# 平和で良き年を祈念して

## ふくろう新聞

<発行>

特別養護老人ホーム  
淡路ふくろうの郷  
広報委員会  
洲本市中川原町中川原28番地1  
TEL: 0799-25-8550  
FAX: 0799-25-8551  
ホームページ  
<http://www.normanet.ne.jp/~hyoufuku/>



まで、淡路ふくろうの郷の10周年を刻む  
式典・祝賀の集い、故人を偲ぶ会、「地域

新年あけましておめでとうございます。  
旧年はひとかたならぬご指導ご支援を  
頂き深く感謝いたしております。おかげさ

で生きるくらしを創る 中川原と  
共に」の出版、さらに、就労支援事  
業所「神戸ろうあハウス」など神戸  
ろうあ協会が15年にわたって担っ  
てこられた神戸事業の運営移管な  
ど、当法人への使命・役割に応える  
べく奮闘してまいりました。

一方で、困難な時こそ団結し力を  
高めていくという課題では、十分立  
ち向かえず、短期事業の休業という  
苦渋の事態を招きました。

この背景にある介護保険制度の  
報酬削減など制度的後退に対して  
は、関係団体と連携した粘り強い運  
動の継続と共に、私たち自身の運  
力向上に努め、今年の上半期の早い  
時期に短期事業の再開を目指して  
います。

淡路の三市や、とりわけ神戸市内  
で、孤立状態の中にあるろう者・  
難聴者・聴覚障害の子どもたち、そ  
のひとり一人が、大切にされている

あけましておめでとうございます。今年は酉年です。十二  
支や干支の考え方は、酉(トリ)は「取り込む」といわ  
れ、運氣もお客も取り込めることから商売繁盛につながる  
と言われています。また酉の由来に「果実が極限まで熟し  
た状態」物事が頂点まで極まった状態」とも。今までの積  
み上げが何らかの結果につながる年になりますように。

という実感の持てる居場所、創造  
的活動と働く場、人権と共生を実  
現していくため、行政との連携を  
さらに密にし、拠点を広げていき  
ましょう。

新しい年が平和でよき年にな  
りますよう祈念しまして新年の  
ご挨拶とさせていただきます。

二〇一七年元旦  
(福)ひょうご聴覚障害者福祉事  
業協会 理事長 大矢 暹



▲2017年の漢字「笑」今年も松栄寺  
住職さんに書いてもらいました。「笑  
顔」の絶えない1年に



▲1/3 入居者の意見により豪華な  
カニ鍋。おいしいと講評でした



▲1/2 恒例の麻雀大会。神戸から  
も参戦。大賑わいでした



▲1/1 先山千光寺お参り。お餅を焼い  
て食べ1年の健康をお祈りしました

### 谷口 道子様

昭和8年6月2日  
(83歳)



京都出身で、長年、繊維会社に勤めていました。手芸裁縫の腕はプロ級です。いつも時間があるときは他の入居の人たちと編み物をして過ごしています。抱負は「100歳目指して、毎日頑張ることです！」

## 年男・年女に聞く

### 今年の抱負



### 真嶋 勝様

大正10年1月28日  
(94歳)



生まれも育ちも洲本市由良町由良です。仕事は汽船場で、船を誘導したり、切符を売っていました。仕事でいろいろな免許を取得しており、由良では有名人だったと思います。「物づくりが好きなので、プレスレット作りを続けたい。エビフライをたくさん食べて、元気に過ごしたい。」

### 北宿 一好様

昭和8年2月23日  
(83歳)



「セイコー」という時計屋で、時計を売る仕事をしていました。若い時は趣味でマラソン大会に参加していました。ふくろうの郷に入所してからは、居室やリビングで脳トレを頑張っています。「今年1年、元気に過ごしたい！」



人生60年、あつという間に還暦を迎えました。体力は下降だけど、気持ちはまだ若いつもり。今年も1年がんばります。

神戸ろうあハウス デイサービスセンター

木谷 玲子

出会い、ふれあいを大切に、地域も巻き込みながらみんなで一緒に力を合わせ頑張っていきたいと思います。

神戸ろうあハウス デイサービスセンター  
三谷 有美子

私の今年の抱負は、夢です。色々勉強しながら、資格を取得したいと思っています。入職して3ヶ月ですが、先輩職員が親切、丁寧に仕事を教えてくれます。これからも、先輩職員や利用者と一緒に明るく、楽しく、まだまだ新人の私ですが、一生懸命頑張りますので、宜しくお願い致します。

淡路ふくろうの郷

生活援助係

上田 栄子

今年は何年とあってか、偶然にも春には我が家から子供たちが(息子・娘)が巣立っていきます。とてもさみしくなりますが、そこは酉年生まれの特徴「忘れっぽさ・前向き」を活かしながら、なんとか飛躍の年になるように頑張ります！

淡路ふくろうの郷 健康看護係

土井 素子

酉年生まれは「バタバタ貧乏」と言われますが、落ち着いて、笑顔で仕事を頑張りたいと思います。

今年一年、皆様が笑顔で過ごせますように・・・

淡路路聴覚障害者センター

川道 孝子

今年目標を定め、結果を出せるよう、前向きに、頑張ります。

就労継続B型事業所

おのころの家

橋詰 一則

## 年末の暮らいつくへん 餅つき・しめ縄作り

12月17日、毎年の恒例行事である、餅つき・しめ縄づくりが行われました。中川原老人クラブ連合会、地域交流会地域の方々に協力いただき無事に終わることができました。

入居者の皆様は餅つきの様子を楽しそうに見学されていました。

また、しめ縄づくりでは地域の方々と入居者さん、家族の方がたが共に作業に取り組むことで、昔話にも花が咲き、いい交流の機会になりました。

その後お餅は、おしるこに入れて皆様にふるまわせて頂きました。入居者の皆様は美味しいと喜ばれていました。

ご協力いただきました、地域の皆様、ご家族様、本当にありがとうございました。



北宿さんの娘さんも初めて挑戦「お父さん昔作ってたね」と会話。



毎年しめ縄の指導をしてくださる中川原老人クラブ連合会のみなさん

## 安乎小学校との交流

12月9日、安乎小学校の6年生の皆さんが来所され、交流会が行われました。小学生の皆さんが、一人ずつ手話で自己紹介をしてくださり、一生懸命な姿に入居者の皆さんも目を細めておられました。

その後、小学生の皆さんがビンゴゲームや箱の中身当てクイズ等、事前に準備された工夫いっぱいゲームを交流しながら楽しむことができました。

最後には、小学生の皆さんが入居者の皆さんの肩をみをしてくださいました。楽しい時間をありがとうございました。



▲子供たちとゲームを楽しむ長崎被爆者の山崎榮子さん(90歳)

## ☆クリスマス会☆

12月21日、クリスマス会を行いました。今年は「和」をテーマに手まり寿司や和風の食材を使用したピンチョス、星型にくりぬいた野菜の入ったお吸い物など、ひと味違ったクリスマスランチを用意。地域の方、また遠方よりご家族が参加される方おられ、一緒に食事、交流を楽しんでいただきました。ゲーム大会では、ボールを競って入れる、というゲームを行い、トナカイに扮した職員にボールを当てて笑顔満面の方もおられました。また今年も地域交流会相談役の北岡 肇様がサ

ンタに扮して、入居者に素敵なプレゼントを配っていただくというサプライズもありました。また、クリスマスツリーがないのは寂しいと地域交流会の人たちが山からモミの木を伐りだし立派なツリーを作ってください、雰囲気盛り上げてくれます。



▲地域交流会のメンバーによる2mを超える巨大なツリー



▲サンタに扮した中川原町の北岡肇さんからのプレゼントに喜ぶ入居者

**淡路聴覚障害者  
センター** 便り

12月24日(土)  
洲本市総合福祉会館  
淡路ふくろうの郷

洲本市港2-26  
洲本市健康福祉館3階

**第7回社会生活教室  
「薬の飲み方について」**

12月24日(土)  
洲本市総合福祉会館  
淡路ふくろうの郷

第7回社会生活教室を開催し、20名が参加されました。社会生活教室は「学ぶこと」と「交流」も目的としています。ふくろうの郷入居の竹内さんも久しぶりに難聴の仲間との交流を楽しみました。

午前は、難聴者・ろう女性・ろう男性の3グループに分かれ、日頃の薬の飲み方について話し合いました。

**日頃からの疑問や工夫を話し合う**

参加者のほとんどはこれまで薬を飲んだ経験があり、日頃から、「お水ではなく、コーヒーやお茶で薬を飲んでもいいのか」「薬は一包化してもらっている」「お薬手帳は常に持ち歩いている」とそれぞれに疑問や、工夫され



▲久しぶりに仲間と交流しながら薬について学ぶ難聴者の皆さん

ていることを話し合いました。

**薬と飲み合わせの悪い食べ物・飲み物がある**

午後からは、淡路ふくろうの郷の言語聴覚士の齊藤奈氏から午前の話し合いの内容も絡めてお話しいただきました。

薬には飲み合わせの悪い食べ物や飲み物があります。例えば、血が固まるのを防ぐ薬「ワーファリン」を飲んでいる方は納豆を食べると薬の効果が弱まる事や、睡眠薬とお酒を一緒に飲むと効果が強くなり過ぎ、時には死に至るケースもあるのでとても危険ですと齋藤氏。

**飲み忘れ放置は危険、医師に相談しよう**

薬を飲み忘れたら医師に忘れたことを話すのが恥ず

かしく正直に言えない、と参加者からも意見がありました。「高血圧で薬を処方されているが、飲み忘れがあり、次の受診時も血圧が高い状態。医師は薬が足りないからだと更に強い薬を処方し、その薬を飲んで血圧が下がり過ぎてしまう危険がある。きちんと飲めていないことに恥ずかしがらず思い切って医師に相談しましょう」など、具体例をもってお話しいただきました。

**高齢者にとって大事な「飲み込み」**

後半は「飲みこみ」についても触れ、食べ物や飲み道に入らず気管から肺に入り肺炎を起こす誤嚥性肺炎は、高齢者にとっては死につながる事が非常に多く、身近に起こることです。参加者で知っている方は少数でした。「薬」も「飲みこみ」も毎日の生活に必要な身近な行為です。トロミ食を試食した参加者の原聖人さんは「トロミという言葉やトロミをつけることを初めて知った。また西田晃美さんは「薬を間違えて飲んで失敗したことがある。これからは医師の指示通り飲むことで安心できる」と感想を述べられました。

**「まなびあい 自分を語るための・・・紙芝居」**

12月10日、11日 神戸市で近畿手話通訳問題研究討論集会が開催され、手話講座講師団が作成している紙芝居づくりの取り組みをレポート報告しました。

**参加者からは「是非参考にしたい」との声が**

紙芝居は講師(主にろう講師)が手話講習会の中で自らの生い立ちや生活の中での不便なこと、社会の壁などについて語る時のレジユメの役割であったり、受講者によりイメージしやすく、わかりやすいようにと作成しています。

反響は大きく、「枚数はどれくらいが適当か」とか「受講者の反応は」など多くの質問や、「ぜひ参考にしたい」という声も多く聞かれました。

**本当に伝えたかったこと・・・語ることでの変化**



▲制作した紙芝居の一例

しかし私が本当に伝えたかったことはそれだけではありません。紙芝居を作る過程で関わる人たちが語り手が、問題点の整理をしたり、問題を共有したりする時間となったことや、自分を語ることでどんどん変わっていく過程についてもつと知ってほしかったと思います。改めて伝え方の難しさも知りました。

**今後も「まなびあい」の深まりを**

今回、レポート報告をすることで、自分たちが行っている実践を振り返り、整理する機会をいただきました。これらを共有することでさらに「まなびあい」を深めていきたいと思えます。



▲レポート発表する橋詰恭子氏

兵庫手話通訳問題研究会  
淡路地域班 橋詰恭子

**中川原高齢者・障がい者  
地域ふれあいセンター**



〒656-0002  
兵庫県洲本市中川原町中川原 222-2

**「独居暮らしの方が不安」**

**デイサービスセンター桜ヶ丘**  
初めまして。11月1日からデイサービスセンター桜ヶ丘の管理者になりました、稲井愛里と申します。竹内の代理として勤めさせていただきます。

私は10年7ヶ月間、淡路ふくろうの郷で勤めさせていただきましたが、デイサービスは始めての経験です。管理者としてスタートしたのは、私にとっても、周りの方にとっても大変なことでした。ご利用者の皆様、ご家族様、デイ職員の皆様などたくさんの方のご助力があつて、仕事の内容も段々と覚えられてきました。



でも、まだ分からないこともたくさんあり、頑張っていきたいと思えます。

デイサービスをご利用される方のご家族様は、「1人で家にいることが心配。」「閉じこもって生活していると認知症になるのが心配。」とよく仰られます。デイサービスを利用していただくことで、閉じこもりを予防し、他者と交流してお喋りしたり、様々なレクリエーションをして、認知症を予防し、活気ある在宅生活を送る手助けになればと思います。

(管理者：・稲井愛里)

**昨年2倍で苗植えを目指す**

今年も始まった玉ねぎの苗植え。今回は早生も含めて昨年の倍の面積80アールを植えています。毎日毎日苗植えが続いています。畑に向かう送迎中に助手席の西本さん(64歳男性)が「あれ見てみ」と言い車を止めました。「おじいさんがトラクターで耕運してその近くでおばあさんが一人で玉ねぎ苗を植えている」「この広い畑を二人でやっている」「耕運し畝をつくりながらの方が土が柔らかく植えやすいのや」「二人だけで大変な」と話が弾みます。こんな光景はあちこちで見られます。西本さんは何を感じたのでしょうか？

**新年あけましておめでとうございます。**

旧年中、関係者の皆さまには、本当にいろいろお世話になり、ありがとうございました。昨年から社会福祉法人ひょうご聴覚障害者福祉事業協会の経営に移行させて頂き、今までとの違いに右往左往した一年でしたが、「共同作業所神戸ろうあハウス」の移転、また神戸市聴覚障害者福祉施設建設推進委員会で見えてきた課題などを整理し、目標に向かって、少しですが、進めた一年でもありました。作業所のなかまたちも、笑ったり、喧嘩したり、と忙しく過ごしながらも、みんな元気に、過ごすことができました。とっても元気ななかまたちですが、確実に歳を重ねて、課題も増えてきています。今年も、目標に向かって確実に進んでいけるように未熟ながらもがんばりますので、ご指導ご協力よろしくお願ひします。神戸ろうあハウス一同

農家の方は少人数でやらなければならず大変だと感じているのでしよう。それは西本さんの作業に向かう姿勢と作業の速さに表れているように思います。毎朝、きちり防寒の服装をし、よしやるぞとやる気満々です。苗植えも誰よりも手早くチャチャと植えていきます。一気に綺麗に作業をしいタイプで農家の方をつ見習ってやれているように感じます。地域と農作業を行い、その中で色々感じ取っている西本さんでした。

(藤崎・中島)



**神戸ろうあハウス  
デイサービスより**

兵庫、灘、須磨デイサービスの利用者、職員総勢45名より新年のご挨拶を申しあげます。平成28年、神戸ろうあハウス移転の取り組みの傍ら、共にろうあ高齢者の「居場所」としてそれぞれ頑張ってきました。デイを支えるのが、職員、スタッフではなく、利用者さん達の積極的な参加の意欲と、生きいきとした笑顔そのものだといふ事は言うまでもありません。利用者さんの活動がそのままサービスの色合いとなつていきます。

そんな利用者さん達が年に一度、合同クリスマス会で一堂に会します。今回は、介護保険のお話しや看護師さんの「介護予防」の話、利用者さんの社交ダンスやエイサー、沖縄踊り、スタッフのお芝居「ペルサイユのバラ」(県名ピンゴと盛り沢山の内容で、利用者さんの笑顔が絶えませんでした。最後の集合写真はちよつと「筆心!」のある利用者さん達が書いた「あけましておめでとう」をそれぞれ持つて、記念写真で一年を閉じました。29年が利用者さん、神戸ろうあハウスにとって飛躍の年になりますように、みんなの願ひです。(眞木崇江)



▲合同クリスマス会で笑顔のデイサービスのみなさん

続々・地域を語る

中川原むかし話

かるた口説き

NO29

北岡肇

町は一七・〇七平方キロメートル、安乎町は、九・二八平方キロメートル、となつている。

○地質・地勢

① 広さ一三・〇五平方

キロメートルの中川原

○位置

中川原町は洲本市の北部に位置し、東は大阪湾に面し、西は鮎原村（現洲本市五色町）と接し、北は安乎町に続き、南は洲本市宇山、上・下加茂、下内膳に接し、淡路の名峯先山（高さ四六五メートル）のひざにのっかかり、地勢は丘陵性をなし平地は狭少である。

○面積

中川原の東西（東は水の大師、西は安坂上組）の最長間五・四キロメートル、南北（南は安坂下組、北は二つ石）最長間、三・八キロメートル、で面積は一三・〇五平方キロメートル、旧津名郡、二十八ヶ町村の中で第七位である。尚、洲本市へ合併した由良

町は、大部分が「花崗岩層」で出来ていて一部分、厚浜が第三紀層となっている。大部分の土地が海拔50メートルの丘陵地であり、しかも南斜面であるため、夏季は季節風の影響を受けることと、さらに土質が粘土質質であるために、二毛作田が僅少で耕作に多大の労力がある上に、収穫量には恵まれていない。

○気候

淡路一帯が四季のけじめのはっきりした、典型的な温帯地区で、寒暑よろしきを得ている。大陸高気圧の関係で、冬の季節風は北西が強く、山懐に抱かれていたからといって、特に内陸性気候といった面は大して見られない。

全年平均気温

一五・三度（洲本測候所調）

（※以上中川原村史より転載）

ひょうご聴覚障害者福祉事業協会では職員を募集しています

共感と感動をともに実践に生かしていきましょう！



【職員からのメッセージ】私は介護職員として勤めて10年になります。高卒で入社した当時は右も左も分からなかったのですが、先輩方に様々な知識や技術を教えてもらいました。手話は入居者さんから教えていただきました。ふくろうの郷は職員同士の仲が良く、相談しやすい環境です。手話が分からなくても、職員はもちろん入居者さんも会話しながら教えて下さいます。初めての方でも安心して働けますよ！

（生活支援員・看護師・調理員・ケアマネージャー）

試験日 2017年2月25日（土）

（詳細は淡路ふくろうの郷総務部 0799-25-8550 橋詰まで）



立派な門松を作ってくださった地域交流会のみなさんと

行事・予定 1月

- 9日（祝）淡路聴覚障害者協会 新年会
- 15日（日）第43回兵庫県ろうあ者新年大会
- 16日（月）法人事務局会議

- 17日（火）どんと焼き
- ハニタ・マイボン氏（ラオスろう協副会長）見学・交流会
- 22日（日）中川原ふれあいセンター 運営委員会
- 27日（金）だいこんまつり